

技術・家庭科学学習指導案（3年）

1 題材名 幼児との関わり方を考えよう

2 題材の目標 自分の幼児期の振り返りや幼児との触れ合い活動を通して、幼児の心身の発達やそれを支える家族や周囲の人の果たす役割について理解し、幼児との関わり方を考えることができる。

3 評価規準及び指導の計画（全10時間予定）

評価規準	生活や技術への関心・意欲・態度	幼児に関心をもち、幼児の発達と家族や周囲の人との関わりについて考えようとしている。					
	生活を工夫し創造する能力	幼児の発達段階に応じて、幼児との関わり方を自分なりに考え工夫している。					
	生活の技術	幼児の心身の発達の特徴や発達段階に応じた関わり方について、観察したことをまとめることができる。					
	生活や技術についての知識・理解	幼児の心身の発達の特徴と幼児の発達を支える家族や周囲の人の役割を理解している。					
過程	時	主な学習活動	評価				
			◇評価項目（評価方法）	関	思	技	知
つかむ	1	○自分の出生時の身長・体重などを調べる。（家庭での調べ学習） ○幼児の映像を見て、これまで自分が育ってきた中で関わってきた人を考え、学習課題をつかむ。 課題：幼児との関わり方は、どのようにしたらよいのだろうか。	◇自分の成長を振り返り、これまでの自分と周囲の人との関わりについて関心をもち、学習に取り組もうとしている。（ワークシート、発言）	○			
追究する	2	○自分の成長調べや新生児模型をもとに、幼児の体の発達の特徴をまとめる。	◇幼児期の成長や発達に順序があることを理解している。（ワークシート、観察）				○
	3	○幼児の写真や映像を見て、幼児の情緒やことば、社会性の発達の年齢による違いをまとめる。（本時）	◇幼児の情緒やことば、社会性の発達の特徴と、その発達を支える周囲の役割を理解している。（ワークシート、発言）				○
	4	○幼児の生活習慣を適切に身に付けるための接し方や言葉かけを考える。	◇幼児の生活習慣の発達を促す好ましい関わり方について、自分なりに考えている。（ワークシート、観察）		○		
	5	○幼児との触れ合い活動の計画を立てる。	◇幼児との触れ合い活動において、課題を見付け、計画を立てようとしている。（ワークシート、観察）	○			
	6 7	○計画に基づいて、安全に配慮しながら、幼児と触れ合う。	◇幼児の発達段階に応じた遊び方や関わり方について工夫している。（ワークシート、観察）		○		
まとめる	8 9 10	○触れ合い活動を振り返り、心身の発達やそれに応じた接し方や話し方などについてまとめる。 ○グループごとに発表し合う。	◇幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを観点に基づいて整理することができる。（ワークシート、観察、発表）			○	

4 本時の展開（3/10）

(1) ねらい 幼児の写真や映像を見て年齢による発達の違いをまとめることを通して、幼児の情緒やことば、社会性の発達の特徴と、その発達を支える周囲の役割を理解することができる。

(2) 準備 教師：幼児の写真・映像、コンピュータ、OTC、ワークシート

(3) 展開

学習活動 ・予想する生徒の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎を「努力を要する」状況の生徒への支援)
1 自立と自律の違いについて知り、本時の学習内容をつかむ。 ・自立と自律は意味が違うな。 ・今日は幼児の心の発達について学ぶのだな。	2分	◎幼児がひとりで着替えている様子や怒っている様子の写真を提示して、自立と自律の違いについて説明する。 自立：自分の力で生活できること。 自律：場面に応じて自分の気持ちや行動をコントロールすること。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 幼児の心の発達について考えよう </div>		
2 幼児の映像や写真から、幼児の心の発達について気付いたことをまとめる。 ・従兄は従弟の面倒を一生懸命見ていたな。 ・不安になるとすぐ泣くな。 <情緒の発達> ・笑顔は「うれしいな」、泣き顔は「いやだ」という気持ちだな。 ・体全体で気持ちを表現しているな。 <社会性の発達> ・我慢ができるようになるな。 ・協調性や思いやりが出てくるな。	30分	◎以前見た幼児の従兄弟がおつかいに行く様子から、発達段階による心の発達の違いを捉えさせる。 ◎班の人と意見交換をさせ、自分では気付かなかった発達の違いに気付かせるようにする。 ◎幼児の様々な表情の写真を提示して、ことばで自分の思いを十分伝えられない幼児にとっては情緒の表現がコミュニケーションであることに気付かせるようにする。 ◎年齢別の表情に着目させ、年齢が低いほど率直で激しい表現をすることに気付かせるようにする。 ◎1歳頃までは大人に頼っているが、次第に自分の意志で行動したがるようになることを伝え、幼児2人がけんかをしている写真をもとに、社会性の発達について考えさせる。
3 自分の成長調べをもとに、幼児のことばや心の発達の特徴について知り、周囲の人の関わり方について考える。 ・最初は「ママ」「マンマ」が多いな。 ・車は「ブーブー」と言ったな。 ・家族や周囲の人は温かく見守ったり励ましたりすることが大切だな。	15分	◎自分の成長調べ(家庭での調べ)から、最初に話したことばを発表させ、幼児の最初のことばは「マンマ」「ワンワン」などの一語文であることを理解させる。 ◎次第に、二語文「ワンワン イル」、三語文「ボク オバア チャンチ イッタヨ」と発達することを説明する。 ◎家族や周囲の人の関わり方(役割)についても考えさせ、周囲の人との温かな触れ合いが心の発達を促すことに気付かせる。 ◎心の発達にも個人差があることを押さえておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><ねらいを達成した生徒の意識> 幼児は年齢が低いと情緒の表現が激しく、年齢が上がるにつれて、思いやりが出てきて、伝えたいことが具体的に言えるようになるんだな。家族や周囲の人は励ますなど愛情をもって接することが大切だな。</p> </div>		
4 本時の授業を振り返り、自己評価する。 ・ことばは一語文、二語文、三語文と発達していくことが分かった。	3分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ◇幼児の情緒やことば、社会性の発達の特徴と、その発達を支える周囲の役割を理解している。(ワークシート、発言) 【知】 </div> ◎幼児の映像を見たときの視点を助言し、発達段階による発達の違いをまとめることができるようにする。 ◎幼児が泣いていたらどうするかなど、具体的に例を挙げて周囲の人の関わり方を考えさせる。 ◎ことばの発達は、表現力、理解力、情緒なども含めた総合的な発達としてとらえることを補足し、幼児の心の発達について振り返らせる。 ◎次時の学習内容を伝え、見通しをもたせる。